芦高新聞

発行所
県立芦屋高等学校
出版部
兵庫県芦屋市宮川町55

本校指定店
合資会社 芦屋写真室
国鉄芦屋駅北出口前
電話芦屋(二)四七三六番
撮影 カメラ部

常に希望と自信をもて

＝卒業生に贈る＝

学校長　前川誠一

本校第十四回卒業生として学窓を巣立ってゆく五百有余名の諸子、私は諸君の将来に大いなる期待を寄せるとともに諸子の前途の幸運を心から祈っております。芦高生としての諸子に最後の訓えを述べて餞けの言葉としたい。

第一。いついかなる場遇に際会しても常に希望と自信を見失うことなく前進してほしい。凡そ人として希望を抱かない者はあるまい。だがこの希望が無惨にかれ果ててしまうことがあるのである。希望なき人生は、舵を失った舟、柱を折れた家のごとく、最早や存在の価値がない。クラーク博士の「ボーイズ・ビー・アンビシャス」これはまさに座右に銘すべき名言である。古人の言に「人生万事頭一個の事あり、立志是れなり」とあり、また「一灯を提げて暗夜を行く、暗夜を憂ふる勿れ、只一灯を頼む」と訓えている。艱難と逆境に直面してよくこれに耐え敢然と勇往邁進する原動力となるものは立志であり、希望と自信である。この希望のみは何人もこれを奪うことができない。「但だ奪はれざるものは志望のみ」は吉田松陰先生の言であるが、この言に先生の不屈の意志が窺われるのである。黒暗かもを襲うとき、空のあなたにわが舟を導く星の光あり、この星を見失ってはならない。

第二。現実に直面せよ。きびしい現実に当面すると、希望がときには幻想に変形してこれに逃避することがある。これは人生にとって大いなる害毒である。

人生は、舵を失った舟、柱を折れた家のごとく、最早や存在の価値がない。クラーク博士の「ボーイズ・ビー・アンビシャス」これはまさに座右に銘すべき名言である。古人の言に「人生万事頭一個の事あり、立志是れなり」とあり、また「一灯を提げて暗夜を行く、暗夜を憂ふる勿れ、只一灯を頼む」と訓えている。艱難と逆境に直面してよくこれに耐え敢然と勇往邁進する原動力となるものは立志であり、希望と自信である。この希望のみは何人もこれを奪うことができない。「但だ奪はれざるものは志望のみ」は吉田松陰先生の言であるが、この言に先生の不屈の意志が窺われるのである。黒暗かもを襲うとき、空のあなたにわが舟を導く星の光あり、この星を見失ってはならない。

第二。現実に直面せよ。きびしい現実に当面すると、希望がときには幻想に変形してこれに逃避することがある。これは人生にとって大いなる害毒である。

人

論説

改選期日をめぐって

執行委員会は先ごろ自治会改選期日決定について声明文を発表したが、この問題は芦高自治の根本に関係するだけに自治会員全員で慎重に審議したいものである。その声明文によると、「従来の十二月一十一月の期間では現在の深刻な社会状態に照らして、あまりにも自治会役員に勉強以外の負担がかかりすぎる」というのであるが、確かに現在の大学入試の困難さは大いにこの自治会制度というものに関係してくる。

この十二月一十一月の期間が七月一六月期間制になってきしあたって困まってくるのが記念祭であろう。先日の講堂での説明討論会にもあったように、入学して間もない芦高自治会制度についてもいうように、体当りでぶつかっていくのもいいかもしれない。それによって芦高自治会がつきあたりの壁から脱出することができれば幸いである。

いずれにしてもこの問題は芦高生全員で解決すべきものである。執行部の独走的なものになってはいけない。深い関心をもって、慎重に審議し合っていこう。

慎重な予算審議を

今年度の自治会予算審議もとうやら山場を越えたようだが、その決定版はさておき、予算委員会の審議の仕方にいささか難点が見られたようだ。

まずさきの文化部公聴会でも問題になったように、予算額のアンバランスである。弁論部の方とつく高騰に対し、美術部のこれも方とつく減額、文芸部の一方に近い激減は少しひどすぎる。いかなる理由があるとはいえ、あまりにも慎重さうか。いずれにしてもこの問題についてはその他賛否両論があろうが、十居会長にいってもいうように、体当りでぶつかっていくのもいいかもしれない。それによって芦高自治会がつきあたりの壁から脱け出すことができれば幸いである。

いずれにしてもこの問題は芦高生全員で解決すべきものである。執行部の独走的なものになってはいけない。深い関心をもって、慎重に審議し合っていこう。

ルーズな会計の処理状態 思いきった改善が必要

上野予算委員長

例年予算額が固定化しマンネリズムに陥っていることは拒めない事実です。そのため、近来とくに発展した部や衰退した部に対する評価が若干おりて不合理になってきています。また記念祭中心の傾向が多くなり、年々固定化した予算に甘んじて同好会的色彩が強くなりつつあることも事実です。その上会計の処理状態も悪く、予算の運営も不備が多過ぎます。そのような事情で予算審議もそろそろ改革の時期に当たっていると思い切った改革を行なおうとしているわけです。これに対して自分のクラブだけの感情におぼれて、いわれては私たちの立場がありませんか。

また幹事会公聴会に出席した幹部の中には不真面目でヤジを飛ばしたり冷かしたりする人々が多く、また自分のクラブの額が多過ぎれば出てこないというような態度は部員の代表として恥ずかしいものではないでしょうか。このようなクラブ活動に励んでいる姿をみて、成程と思い、他校にない芦高の気風だときょうも思う。十年一昔というが、いつの間にか時日のみが過ぎ去ったと、反省とともに、わずか十年の間に、時代の流れとともに姿を異にしている点に、感を深くさせられる。

いたずらに昔のことを懐かしがるのが、懐古派のくせのようだが、しかし、芦高の十年前当時、むしろそれ以前は、今とくらべてよい意味で活発であったようだ。熱情と誇りを持って、積極的に、自主的にとにあたっていたように思う。

もちろん、そうしたものが、なかなかうか、しかし人間の頭が機械化されない限り、またまた機械化されたとしても、人間共通の気候の寒暖変り化への抵抗力の弱性現象と割切り、肯定しうる合理的行為かも知れないが、せめて、まじめにやっている人の迷惑を考え、静かに実行できなければ学校、病院用などによく取り付けてある「静かに徐行」などの標語などまことにりっぱなことを考えてみてもよいのではなかろうか。

きょうも、ふと耳に本はゆっくりと落着いて考えながら読まなければ駄目だと、話し合っていることばが入った。つい、最近も、ある本に〝同一冊に新刊書が発行されるが、だれもこれをよむことは至難の業で、その中の一冊でも自分のものにした人が、ついさっきのある生徒のことばと思い合わせて成程と思う。せめて、一年間に五、六冊の本を自分のものにするよう努力すれば、そのために余暇を善用する一助ではないだろうか。

昔はもっと情熱的だった

読書は〝一冊でも自分のものに〟

社会科　津村進作

芦高生は、個人個人としては、自然に育っているという感じであった。

そうしたものの中で、皆がのびのびと勉学にはげんでいる姿は、日進月歩の文化の進歩、マス・コミの発達で、気力になってきたように思う。

すべてのものが抵抗吸収に追われている現代の世相からみて、学習面、その他においても、多忙になったとみるべきはもちろん、芦高生は、個人としてのあり方を考えてみるべきだろう。

芦高生は、個人としては、自然に育っているという感じであった。

そうしたものの中で、皆がのびのびと勉学にはげんでいる姿は、日進月歩の文化の進歩、マス・コミの発達で、気力になってきたように思う。

すべてのものが抵抗吸収に追われている現代の世相からみて、学習面、その他において、多忙になったとみるべきはもちろん、芦高生は、個人としては、自然に育っているという感じであった。

例えば、図書室などに大半は熱心な人がいるが、中には、ただ雑談のため、にしか来ていないような人がいるのは困った。

教壇随想

芦高に私がはじめて第一歩を、さらに教壇を踏げ、その過程として、最近、個人の積極的に学習に読書に邁進して、向上を図る

芦高生は、個人としては、自然に育っているという感じであった。

そうしたものの中で、皆がのびのびと勉学にはげんでいる姿をみて、成程と思い、他校にない芦高の気風だときょうも思う。十年一昔というが、いつの間にか時日のみが過ぎ去ったと、反省とともに、わずか十年の間に、時代の流れとともに姿を異にしている点に、感を深くさせられる。

いたずらに昔のことを懐かしがるのが、懐古派のくせのようだが、しかし、芦高の十年前当時、むしろそれ以前は、今とくらべてよい意味で活発であったようだ。熱情と誇りを持って、積極的に、自主的にとにあたっていたように思う。

もうそこからは大きくとだ。冬の間はとくに炉辺談話動けない。こうしたことが、次第に身近に迫りつつあるので、心さも、熱身さというとだろ

記念祭は五月下旬に

土居会長質疑に答える

執行委員会はさる一月二十四日の声明文発表を皮切りに役員の任期改正問題に大きくふみ切った。本問題は現執行員の宿命的課題ともいえるべきものであるが、将来の芦高自治会に与える影響の大なる点を考えると、その意義は非常に重大である。

問　具体的には学校側とどのような話し合いが行なわれたか。

答　生徒課を通じて先生方の意見を聞いた結果、改正後の行事予定は五月下旬に移せばよいだろうとの多少のくいちがいがある他はほとんど賛成であった。提案の趣旨は不賛成であった。

問　記念祭の執行時期の改正問題が起ってくるが、執委は今回どのような対策をとっているか。

答　二月十五日発行の執行委員会報に掲載したが、次回より記念祭の後々に他の問題を解決していくとよい思われる。

問　現在のところ一部の役員の任期改正のみを考えているようだが、他の役員との間に起こり得る連絡においても、また他の自治会役員や会員の中にも意外にこの問題に悩んでいる人が多かった。また今回の選挙において、若干の人にもあたってみたが同様の理由で了承しない人もいるので、この改正によって執行委員を増す多く立候補させ、その補を推薦した。そうして現執行委員会の成立の後にも、現執行委員に問うてみたが全く同様であった。

問　本問題にふみ切るまでにどの程度の調査を行なったか。またこれからどのように推進していくつもりか。

答　過去三年間、私自身の経験上、上のみれば、どうするか。

問　記念祭の性格を少し変えれば解決されるだろうと思われる。

答　前にも述べたように、自治会の中心である執行委員の立候補がいないので、この改正によって執行委員を増す多く立候補させ、その補を推薦した。そうして現執行委員会の成立の後にも、現執行委員に問うてみたが全く同様であった。

代議会が審議を担当

37年度予算委員会

第三十七年度の予算審議はいよいよ最終的段階へと進展してきたが、今回の審議は代議員会で行なわれてきたという点で大きく注目される。本来予算案の審議は代議員会で行なわれるべきものであるが、執行の都合上、昨年度までは執行委員会によってなされてきた。今回初の試みだけに難渋が多く、難行を続けてきたがその問題点をあげると、

(一) 代議員長が予算委員会の議長を務めたこと。

(二) 予算審議における各部の利己主義的な態度。

(三) 予算審議の内容のマンネリズム化。

(四) 予算案審議が予算委員会によって専門化されたこと。

などである。

審議方針に無理はないか

月岡書記長

予算審議が始まってからの予算委員会は執行委員会側からみて思ばわしいものではなかった。たとえば、一代議員長が予算委員会の議長を行ない、独断的傾向の見られるに、いろいろいたことが多いのですが、やはり波乱は起こす側にも責任があること、私たちの意図が十分理解してもらえず誤解を生んだことに対しては真に残念に思っています。

新年とか、何とかが発達するほど人間様が図一的な生活様式にはまりこみ思想まで、時代の方向に固定されてしまう。もうそこからは大きくとだ。冬の間はとくに炉辺談話動けない。こうしたことが、次第に身近に迫りつつあるので、心さも、熱身さというとだろ

利益代表の意見は十分考慮したが

野村代議員長

われわれは、この審議に際して、批判を敢えて覚悟の上で進めてきたのであるが、それでも公聴会における非難の声の大部分が建設的意見でなく、自己の部の予算額増額のための一方的なものであったのは残念なことである。

一、代議員会と予算委員会の遊離について。代議員会総会における予算委員長の経過報告など緊密に連絡をとるよう努力している。他の常任委員会においても同じである。

一、常任委員会設置が代議員会

一、文化部長の意見が余り重んぜられていなかったこと。

一、方針が急進的であることなどがある。

そして第二次案をみると、例年とくらべて少し無理ではないかと思われるようなところが多くあったことは事実だ。しかし執行委員会側としては然っているわけにいかず（不安に思ったため）野村代議員長、上野予算委員長と話し合っているうちに互いに誤解し合っていることがはなはだ多いのに気がついた。しかし代議員会辞部が少しは進的になりすぎて代議員会全体がついて行っていない、ということは事実のようである。

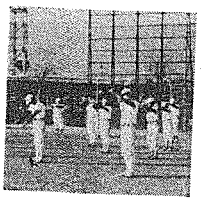
野村代議員長のいったことは形式的（従来通りせずあくまでも規約に従ったこと）にも、内容的（予算案の各部予算額の増減がはなはだしいこと）にも一種の大改革で執行委員会提案の任期改正はともかく、生徒会がついていけるかどうか、来年度も引き続いて代議員会が活発で予算審議などできるかどうか疑問であるし、書記長として実に不安だ。

一、審議・原案作成の方法が前回と異なり急進的であるという点。前年に比較して変わった点は、実質的審議機関が執行部から代議員会（予算委員会）に移されただけであって、コペルニクス的転回を行なっていない。途中の手順にしても前年度と異なる点は何らなく審議が慎重な手順をとっているだけである。

一、審議の席上、利益代表である文化部長の意見が軽視されたということについて。これはまったく根拠のない憶測的意見である。予算委員会側では利益代表である文化部長の意見を十分考慮して決定を下すのが当然であろう、そうしているのであるが、しかし全面的に利益代表の意見を採用することは技術的にまったく無理な問題で、客観的立場からの判断が優先する場合が多い。

新聞・雑誌・各種印刷
大和出版印刷株式会社
葺合区北本町4丁目3　電話㉒ 3523 4583

出版部員募集
特に一年生女子　南館出版部室へ



県大会に出場

バスケット部

室内スポーツのバスケット、卓球は活躍したのだが、ウインタースポーツのラグビー、サッカーは振わなかった。バスケット男子団体は尼産との戦いの結果県大会出場の栄誉を得て、女子の親和、野田がベスト8に入った。卓球部の男子団体は尼産との戦いに勝ち、三位決定戦に勝った女子とともに、第三位の成績であった。

兵庫県柔道新人戦大会

（学校対抗）

一回戦　芦高4－1市神戸工
安居一段○（背負し）関口初段
皆川初段○（返し技）木建初段
平岩初段○（背負し）大西初段
西田二段○（内　股）後藤初段
阿部初段（鉄　腰）○東谷初段
二回戦　芦高5－3私神港
安居　○（寝　技）尾崎初段
皆川　○（体落し）城村一級
平岩　○（背負し）坂本一級
西田　○（内　股）佐藤初段
阿部　（寝　技）○平野初段
鍋谷　（優　勢）○岡田初段
堺元　○（背負し）北野初段
三回戦　芦屋6－0六甲工
安居　○（背負し）時田初段
皆川　○（体落し）荒畑初段
平岩　○（背負し）西村初段
西田　○（内　股）尾花二級
鍋谷　○（しめ技）浜口初段
堺元　○（優　勢）橋本初段
準決勝　芦高0－3親徳
西田　（優　勢）○高田二級
鍋谷　（込み腰）○河内二級
以上の結果芦高は三位
（地区対抗）
西阪神地区代表として平岩、安居、西田の三名が出場。西阪神は丹有、神戸、西播、東阪神地区と対戦
親徳と同一チームで出場昨年優勝できた。
以上一日の戦績より優秀選手賞に西田と安居がなる。

卓球部

男子団体
一回戦
芦屋 ― 市立伊丹

2国子	21 19 21	21 19 9
	13 21 13	19 21 21
伊藤		相馬

T今井	21 21 21	21 19 9
	19 21 19	21 19 21
相馬		岡本

W亀川 今井	21 21 19	21 19 21
	12 10 21	12 10 21
岡本		相馬

三位決定戦
芦屋 ― 尼工

T加納	21 21 10	16 11 21
	16 11 21	12 10 21
的場		27県尼

芦屋40	24 16	18 9
	18 9	24 16
27県尼		芦屋40

○県尼との試合結果、県大会に出場。

女子団体
一回戦
芦屋3－1尼産

2肥塚	21 21	11 5
	11 5	21 21
森		清水

W山形 石浜	19 21 21	21 19 23
	21 19 23	19 21 21
阪口		清水

2国子	21 21 17	19 13 21
	19 13 21	21 21 17
名田		国友

W亀川 今井	21 21 22	13 20
	13 20	21 21 22
徳田		名田

二回戦（準決勝戦）
芦屋 ― 尼産

T今井	21 16 21	23 21 11
	23 21 11	21 16 21
国友		広川

2国子	21 21	19 14
	19 14	21 21
広川		国友

W亀川 今井	15 21 21	21 17 23
	21 17 23	15 21 21
栃谷		国友

4亀川	21 20	22 18
	22 18	21 20
栃谷		8

以上の結果、第三位に決定した。
女子団体
一回戦
芦屋3－1尼産

2肥塚	21 21	11 5
	11 5	21 21
森		清水

W山形 石浜	19 21 21	21 19 23
	21 19 23	19 21 21
阪口		清水

2国子	21 21 17	19 13 21
	19 13 21	21 21 17
名田		国友

W亀川 今井	21 21 19	12 10 21
	12 10 21	21 21 19
岡本		相馬

4山本	21 21	8 8
	8 8	21 21
阪口		浜口

二回戦
芦屋3－0県西

T山形	21 21	15 11
	15 11	21 21
藤原		芦屋

2肥塚	21 21	14 14
	14 14	21 21
本間		芦屋

W山形 石浜	21	19
	19	21
名山 武内		芦屋

二回戦（準決勝戦）
芦屋2－3芦女

T山形	15 21	21
	21	15 21
生原		芦屋

2肥塚	16 18	21
	21	16 18
飛田		芦屋

W山形 石浜	21 21 14	15 16 21
	15 16 21	21 21 14
宮崎		芦屋

4石浜	21 21	17 16
	17 16	21 21
藤井		芦屋

4山本	14 14	21
	21	14 14
宮崎		芦屋

三位決定戦

T山形	21 21	12 12
	12 12	21 21
来田		芦屋

2山本	21 21	18 16
	18 16	21 21
浜口		芦屋

W山形 石浜	21 21	14 13
	14 13	21 21
来田		芦屋

以上の試合の結果第三位と決定した。

バスケット部

男子
県大会準選

芦屋45	19 26	13 15
	13 15	19 26
28尾崎定時		芦屋

芦屋40	17 21	17 20
	17 20	17 21
37神戸商業		芦屋

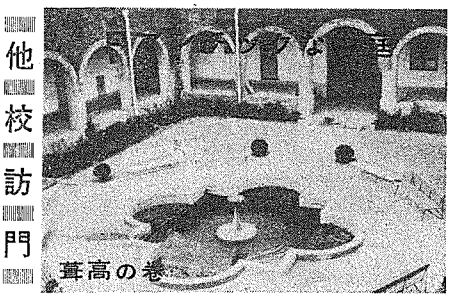
芦屋56	30 26	19 17
	19 17	30 26
46市西		芦屋

女子

市尼	12	34
市伊	34	12
芦屋	35	29
県伊	32	15
芦屋	15	32

親和、野田とともにベスト8に入った。

他校訪門



茸高の巻

立春の日、出版部の明敏（？）なる記者とカメラマンは神戸市の高台、海星の聖母マリアが見下ろしているところにある市立茸高校を訪れた。校舎に沿って南側には銀杏並木が続き秋になると美しい色どりをそえる（が今は寒々とした裸木が立ち並んでいるだけであった）全校生1,050人と本校よりはやや少ないが、生徒会への関心は本校より高く会長、副会長はむろん書記長以下全ての執行委員は直接選挙で選出される。この点本校よりはグッと民主的である。改選は6月で任期は翌年の7月までである。これは現在本校で計画されているのと似ている。

また立合演説会などは絶対聞かねばならないことになっている。新執行委員会発足後夏休みには毎年修法ケ原で幹部会なるものを行ない、仕事の上で多いにプラスになっているとのことだ。風紀面は非常に厳しく遅刻者は風紀委員が校門に立って指導しているため1学年2、3人程度に減ったそうだ。本校でもこのようにしたら少しは減るだろう。

また服装も非常に厳しく男生徒は全て丸刈り、靴下は紺一色靴も運動靴で冬でも防寒服の着用は禁止、女生徒も今年からコートとケミカルシューズの使用を許されたばかりである。校内を回ると塵ひとつ落ちていず、古い校舎にもかかわらず清潔感が漂よっていた。途中文化部の活動を見て回ったがあまり活発なようには見うけられなかかった。図書館も本校より幾分小さく、蔵書も少なかった。外に出てまず目についたのがかの有名（？）な馬小屋校舎、実は茸高校の前身校の遺物である。今にも潰れそうなその中でブラバンと卓球部の部員が練習に励んでいた。向い側にはセルフサービスを信条とする厚生室（食堂）があったが閉館のため内部の様子はわからなかった。南よりには近代建築の体育館があり中ではバスケットの練習試合が行なわれていた。テニスコートの横を通って温室に行くと様々な熱帯植物が所せましと並んでいた。その後御自慢の中庭に行ったが、さすがにりっぱでロマンチックなふん囲気が漂よい、噴水を中心にベンチがありまわりには芝生が植えられ春になると壁のツタが青々と生い茂り、色様々な花が咲き乱れる。その中で生徒たちは執行部主催の大合唱をし、また屋上ではフォークダンスに興ずる。そのためか校内全体に和やかな空気が流れ、規律ある自由というものを見せつけられた感じ。

特選に輝く

【書道部】

さる2月3・4日の両日、芦屋市小中学校書道展において本校から左記の人たちが賛助出品した。

高橋屋太郎（二年）
尾原　懐子（二年）
奥村　正憲（二年）
中川　愛子（二年）
織田　映子（一年）
川嶋　則男（一年）

また第七回兵庫県高等学校書道展は2月11・12の両日神戸国際会館において開催され、左記の人たちが特選、入選した。

特選　高橋屋太郎（二年）
入選　奥村　正憲（二年）
〃　川嶋　則男（一年）

【美術部】

喜びにわく美術部員

書道・美術

第三十四回兵庫県展において、本校美術部は三点出展し、みごとに三点とも特選になった。なおこの展覧会のように三十四回も続いているのは全国でもまれである。

授賞者は左記の通り。

「中之島中央公会堂」
「静物」　三年　石関　興信
「アトリエの一隅」　三年　広田　倫子
　二年　森脇　祥子
学校賞　兵庫県知事トロフィー
朝日新聞社賞　サクラ賞

緑り匂う学園に……。

最近緑り少ない本校に緑りを与えようと学校側の手によって多くの草木が植えられた。

南側と西側にはポプラの木が植えられ、特に南側は第一阪神国道の完成による騒音を防ぐ役目をするために、ポプラが選ばれた。また校舎と運動場との境には南側からニセアカシアの木が植えられた。今運動場両側には芝生が植えられているが春になって青々と色づくころになるとみんなの憩いの場となるでしょう。

中庭の芝生のところも、回りをツゲの苗木で囲み四隅にはパンジーや庭ナズナ等の草花が植えられ春になるとその優美な姿で見る者の目を楽しませてくれるでしょう。

スポーツ教室

スキーの生いたち

ウインター・スポーツで手軽にスリル、スピード、爽服感が満喫できるものといえば、まあスキーということになる。雪は厳る一方というのに、このところスキー・ブームでスキーヤーは増加するばかり。

その昔、スカンヂナビア、北部アジア地方では、雪上の交通具として、木製のカンジキ（雪の中を歩く時、踏みぬんだりすべったりするのを防ぐため、雪ぐつの下にはく道具）を用いていたが、これが発達して、スキーになったらしい。スキーに乗って狩をした話もあり、石器まで発見されている。また、オスロ（ノルウェーの首都）の博物館には一、五〇〇年前のスキーが保存されている。このスキーがノルウェーやフィンランドに次第に普及されたわけは雪国唯一の交通具だったからである。後スキーは狩にも使用されたが、次第に競争にも使用されたが、次第にスポーツとしてのよさが認識され、ノルウェーのスキー名人一層発揮されるようになった。

（旺文社「学生日記」より。）

就職中間報告

◇山村ガラス・山村工学院・井原正明

落書きはヤメヨウ！

最近村二生物講義室の机の上の落書きが非常に多くなったように思う。机というものは勉強するためのものであり、落書きするためのものではないはずである。

落書きをするにしても、エンピツで書くぐらいならまだいい方で、ペンで書いたりはてはナイフで刻み込んでいたりするものもある。ナイフで机にきず をつけるということは一種の校員破損で、本校の方針によると退校問題になることである。

最近先生方もうるさくいわなくなったせいか、遅刻者が非常にふえているように思われる。遅刻すると、その日中、その人自身にも、気分的にもマイナスになり、その人の遅刻によって勉強も中断される。現状では三分までに来ている人はごく少数である。せめて三十分までに教室に入っていたいものである。先生方も少し注意して下されば、少しは減ることと思われる。何はともあれ、まずは生徒諸君の自覚による他はない。

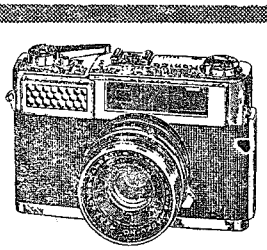
こんなこと

遅刻するな

（一年　K子）

それに一面に落書きをしてある机などでは勉強する意欲もわかない。これは自分だけでなく他人にも迷惑をかけることになるから、十分自重して、このような行為は一度と繰り返さないようにしてもらいたいものである。

若い魅力！



正確な電気露出計、シャープなF.2レンズ、世界一明るいファインダー……これらのすぐれた性能とスマートなデザインが、若い人たちに大評判です。

コニカS

¥23,300　ケース¥1,500

コニカフィルム

東京・日本橋

㈱小西六写真工業

芦屋高校御指定

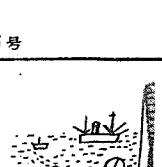
新刊書籍・雑誌・教科書

合資会社　大利昭文堂

阪急芦屋駅前　電話芦屋②3760番

失敗にこだわるな

深井卯吉



受験生

現在の日本の大学入試の状態はまさに殺人的なものであるが、その中で苦しみ絶え、超人的な勉強をして勝利を得た受験生も芦高卒業生には数多くある。そこでそのような受験生がいかにして合格という字を勝ち得たか、どのように苦労したかを、深井先生と熊谷先生に語ってもらった。

私立大学の入試が始まり、国立大学一期校や、一部の公立大学の願書受付が終り、受験者数や競争率が明らかになって、受験生はますます気分の引き締まるのを覚えるであろう。今年の競争率は高くなくとも、質の競争の激しいことは予想される。国公立大学、特に有名校へ現役で入ることは一層むずかしくなるだろう。今までも相当な実力を持ちながら、不運にも落ちて、二度三度、中には四度も受験してようやく初志を貫いた例は少なくはなく、たび重なる失敗に、遂に進学を断念するの止むなきに至った例も出ている。このように苦渋をなめた人たちの方が順調に進んだ人たちより印象に残るのは当然であろう。このような思い出の受験生の一人にA君がいる。

A君は志望する国立大学に入れるものと当人ともに大いに期待していたが、どうしたことか落に相違して落ちた。当人はどんなに残念がったかは想像に難くない。浪人一年、実力を一層充実して、今度は更に入学難の有名校を受験した。できの方はかなり自信はあったらしい。試験が済んで訪ねてきたときに、英文和訳の一題をすらすらと暗唱して解答できなかった部分を質問した。英語はよくできたが、全文を即座に暗いたのには感じた。できなかったことがよほど口惜しかったに違いない。結果はまた不運にも不合格であった。前年の大学を受験しておれば確実に入れていたのにと残念に思った。当人もそう思いたことだろう。運がなかったのは気の毒であった。もう一年浪人して受験準備をすれば、今度は確実に合格するであろう。

X君とY君

先日、講堂で一年生カリキュラムの説明が行われた。そのなかで「たとえば東大を受験しようと思えば……」と説明されたとき「ワッ」と笑いが飛んだ。東大などほど遠しというわけだろう。数年前ならこんな笑いは出なかっただろうに、時代のうつかりわりをしみじみと思わされた一こまであった。受験の世界でも、東大はやはり一つの基準になる。東大でどんな問題がでたということになると、ほかの大学の参考になる。受験談もそれと同じで、やはり東大や京大の受験談がほかの大学の場合でも参考となるのである。

×

X君は卒業と同時に京大文学部にたらしく、入学式には入学生を代表して誓約書に署名した。もちろん、本校も首席卒業であった。しかも三年間皆勤であった。記念祭後になれば、受験生は誰もがあせり、授業サボりがめだってくるのであるが、彼は悠々としていた。一昨年は、彼はまた大学院学生でありながら、東大助教授と伍してアジアより三名のコロンビア大学留学生にえらばれて渡米し、ヨーロッパをまわって帰ってきた。新制度による「文学博士」はまた全国でもでていないが、彼のその日も間近かであろう。

"赤門も遠からじ"

熊谷俊作

さり私立大学に納まってしまった。国立大学に行かなかったのは惜しいと思ったが、当人は国立大学の夢を捨て、失敗にこだわる様子も無かったのであった。重ねて受験して不運を繰返えす結果になるようなら、このような決断は賢明であったかもしれない。

Y君もX君と同じクラスであった。Y君は卒業のときは慶応を受けて失敗した。一カ年浪人して彼は東大経済学部に入った。「トウダイゴウカクス Y」の電報を受けた後に、彼の一カ年の受験生活についてはじめて知り得た次第であった。

彼は卒業して上京受験したときから、一年後に東大に合格するまで、全く正月も郷里へ帰らなかった。東京の予備校へ通って、文字どおり、すべてをかけたのであった。彼が東大へ合格してから念のために彼の在学中の成績を、私はもう一度みなおした。これはX君とはちがってとびきりの成績ではない。普通の成績である。彼はスケートがすきで、三年生の冬にもスケートをたしなんでいた。そのあどけない姿が浮べてくる。彼は第一回の失敗の後に奮起したのであった。

×

東大、京大ほど遠しと思うなかれ。

彼が東大を受験するにはいい先輩の激励があった。硬式庭球部の一年先輩が東大に入っていて東大受験をすすめ、一カ年いろいろとめんどうをみてくれたのであった。

その四月はじめ、私は近鉄車中でY君とおかあさんにひょっこり出会った。Y君のおかあさんは、からだのあまり強くないY君のために、その健康と合格を祈って「石切さん」に願をかけておられて、今日はそのお礼参りということであった。この母にしてこの子あり、わたしは目がしらのあつくなるのを感じた。

彼は東大を卒業して日銀に入り地方勤務を終って、今や日銀本社勤務となって敏腕をふるっている。

×

先輩通信

芦高精神に望む

十一回生　山下隆治

芦屋高校を巣立って早や三年。在校当時の出来事が走馬灯の様に生々しく、思い出が思い出として残っていないのが事実である。

私が現在通学している同志社には旗人会組織である「芦高会」が存在し、芦高精神は微々たるものだが、同志社にも静かに根を下ろして行きつつあるようだ。同会員には体育会に参加している者は若干であるが、私の知る限りでは、彼らは芦高というプライドを強く持ち、その精神は徐々に他高出身の学生たちにも理解されている。かつて芦高山岳部に所属していた堀谷君は、ボート部のマネジャーとして活躍し、名川君は器械体操部のマネジャーとして才能を発揮し、その他多くの芦高卒者が功績を残している。私の部には毎年二、三人の芦高卒者を勧誘し、入部するが、半年も経かない内に脱落していく。他の部でも同様の傾向があるらしい。芦高卒者は、非常に従順で協調精神も旺盛であるので、将来を大いに嘱目されるのではあるが、少し忍耐心に欠けるところがあるのが、一カ所に長くいることをしないようである。

諸君が文化団体、体育団体に入部されたとき、そのクラブの目的は、大体においてつまらない物であるが、その目的に到達する過程に対する努力のうちに多くの教訓を得ることができるのは御承知であろう。よく金槌だったが、その先生がいわれた「自らを逆境に打込め」という言葉は、諸君がまた私が現在与えられた環境の中での、一見無意味であること易な妥協も逃避することなくでもなるのであると思う。各部を転々とし、一つのことに没頭しなければ真の生きた教訓は得られまい。芦高卒者に、各部において脱落者が多いということは、信念がなく、芦高卒者には筋金が通っていないといわれる原因があるのである。多くの諸君の奮起が希望を持ってより良き芦高精神を身につけて卒業されるのを心待ちにしていることを知っておいて下さい。

（同志社大弓道部主将）

追記　私がスポーツに専念した一つの理由は高校時代、実力以上の大学を志望し、失敗したからだ。当初は右にでもつまずいたくらいの軽い気持であったが、日がたつにつれ、その事が何かについて自信喪失の因となった。受験に際し運が向割とかいうが、それは一時の自己欺瞞にすぎない。私は弓道をものにすることにより大きな自信をとり戻したのだ。

伝統と共に励む

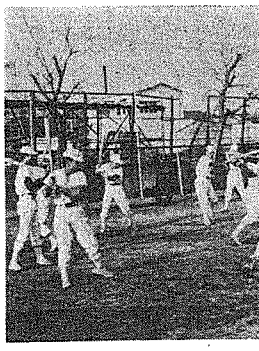
硬式野球部

わが芦高運動クラブのホープ、硬式野球部をスケッチしよう。部員二十六名、部費十四万というもちろんのことだ。芦高卒業生という誇りを胸に、毎年、一二人の芦高卒者を勧誘し、入部するが、半年も経かない内に脱落していく。他の部でも同様の傾向があるらしい。芦高卒者は、非常に従順で協調精神も旺盛であるので、将来を大いに嘱目されるのではあるが、少し忍耐心に欠けるところがあるのが、一カ所に長くいることをしないようである。

諸君が文化団体、体育団体に入部されたとき、そのクラブの目的は、大体においてつまらない物であるが、その目的に到達する過程に対する努力のうちに多くの教訓を得ることができるのは御承知であろう。よく金槌だったが、その先生がいわれた「自らを逆境に打込め」という言葉は、諸君がまた私が現在与えられた環境の中での、一見無意味であること易な妥協も逃避することなくでもなるのであると思う。各部を転々とし、一つのことに没頭しなければ真の生きた教訓は得られまい。芦高卒者に、各部において脱落者が多いということは、信念がなく、芦高卒者には筋金が通っていないといわれる原因があるのである。多くの諸君の奮起が希望を持ってより良き芦高精神を身につけて卒業されるのを心待ちにしていることを知っておいて下さい。

（同志社大弓道部主将）

追記　私がスポーツに専念した一つの理由は高校時代、実力以上の大学を志望し、失敗したからだ。当初は右にでもつまずいたくらいの軽い気持であったが、日がたつにつれ、その事が何かについて自信喪失の因となった。受験に際し運が向割とかいうが、それは一時の自己欺瞞にすぎない。私は弓道をものにすることにより大きな自信をとり戻したのだ。



冬季練習に励むナイン

二十六名、部費十四万というもちろんのことだ。芦高卒業生という誇りを胸に、毎年、一二人の芦高卒者を勧誘し、入部するが、半年も経かない内に脱落していく。他の部でも同様の傾向があるらしい。芦高卒者は、非常に従順で協調精神も旺盛であるので、将来を大いに嘱目されるのではあるが、少し忍耐心に欠けるところがあるのが、一カ所に長くいることをしないようである。

諸君が文化団体、体育団体に入部されたとき、そのクラブの目的は、大体においてつまらない物であるが、その目的に到達する過程に対する努力のうちに多くの教訓を得ることができるのは御承知であろう。よく金槌だったが、その先生がいわれた「自らを逆境に打込め」という言葉は、諸君がまた私が現在与えられた環境の中での、一見無意味であること易な妥協も逃避することなくでもなるのであると思う。各部を転々とし、一つのことに没頭しなければ真の生きた教訓は得られまい。芦高卒者に、各部において脱落者が多いということは、信念がなく、芦高卒者には筋金が通っていないといわれる原因があるのである。多くの諸君の奮起が希望を持ってより良き芦高精神を身につけて卒業されるのを心待ちにしていることを知っておいて下さい。

（同志社大弓道部主将）

追記　私がスポーツに専念した一つの理由は高校時代、実力以上の大学を志望し、失敗したからだ。当初は右にでもつまずいたくらいの軽い気持であったが、日がたつにつれ、その事が何かについて自信喪失の因となった。受験に際し運が向割とかいうが、それは一時の自己欺瞞にすぎない。私は弓道をものにすることにより大きな自信をとり戻したのだ。

仏美術展を見て

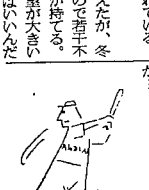
美術科　中西清

フランス展の日本開催を耳にしたのは丁度昨年春のことである。絵画や彫刻を愛する方々の心待ちもどんなに深いことだったろう。自分のような猪首者でも、鶴首になる思いであった。幸い一月三十日、学会の鑑賞会に加わり、そのチャンスを得たのである。まず会場入口で"オーディオガイド"を借用し一年生と同じ気で、流れる荒波にうなされながらの会場一巡は二時間を優に超えたのである。

クリムソンレーキ、オレンジ・グレー、レモンイエロー、セルリアンブルー、カドミュウムグリーン、ブルーグレー、ホワイト・カーマイン、ブラック・シルバーなど変化に富んだ色彩的効果は、とりわけ人の心を誘うものであり、ヴィロード、麻、ナイロン、すべれなどを背景に材質的効果が試みられ、時代、様式、グループによる壁面装飾の計画は誠に有難く思われる第一点である。日ごろ手にする雑誌のくち絵に、カレンダーや画集などでお馴じみの複製名画の本物が一杯!!テレも見た、これも見たである。いずれも世界第一級の作揃いであるのは幸せである。さて第一室へ踏みこんだ途端、"ドキン"と来る。"うなされる"、"画図"が起こる。鑑賞人の姿もとりどりに面白く、"ダル腕をくんでは首かしげ"、"ダル小松、それに一年の藤井・松葉などを部をとげ切れないが、いずれにしても昨年より大飛躍したことは事実だろう。バッテリーも西川・藤井と安定したものになり、今年の投員は大きいようだ。

賀田マネの話ではさしあたっての強敵は流川ぐらいのもので、あとはまあまあだとのこと。是非とも夏には出てもらいたいものだ。

野球部ができると同時に甲子園に出て以来、過去春・夏各六回出場の輝やかしい伝統をもちながら（もう一度出場すると県下最多記録）最近の低調はどうしたことであろう。それにはいろいろな問題点があるが、公立では学制がなり、私立にはないというとも大きな問題点の一つであると顧問は言っておられる。事実、この春の大会を見ても私立が大部分で、公立は数えるほどしかない。これらが、▲勉学との両立は若しいことであるが、時間の使用に左右される。私としては練習時間を節約して、なるべく両立させてやりたい。▲個人負担はなるべくさせたくない。個人で使用するもの、たとえばグローブやバットなどは個人で買わないとやっていけない。今でも先輩から古ボールをもらってやっている。▲その他最後に選ばれたいことは、現在のチーム力は大会に出ていたときの力と同じだから、選手の気力だけがあれば大会出場も可能となるんだが…。

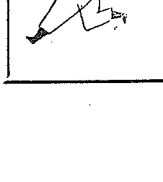


投手は初め不安に見えたが、冬以来、基礎練習をしたので若干不安であるが、相当希望が持てる。打力・守備は夏への希望が大きい欲をいって気力があればいいんだ

石田先生の話

賀田マネの話ではさしあたっての強敵は流川ぐらいのもので、あとはまあまあだとのこと。是非とも夏には出てもらいたいものだ。

野球部ができると同時に甲子園に出て以来、過去春・夏各六回出場の輝やかしい伝統をもちながら（もう一度出場すると県下最多記録）最近の低調はどうしたことであろう。それにはいろいろな問題点があるが、公立では学制がなり、私立にはないというとも大きな問題点の一つであると顧問は言っておられる。事実、この春の大会を見ても私立が大部分で、公立は数えるほどしかない。これらが、▲勉学との両立は若しいことであるが、時間の使用に左右される。私としては練習時間を節約して、なるべく両立させてやりたい。▲個人負担はなるべくさせたくない。個人で使用するもの、たとえばグローブやバットなどは個人で買わないとやっていけない。今でも先輩から古ボールをもらってやっている。▲その他最後に選ばれたいことは、現在のチーム力は大会に出ていたときの力と同じだから、選手の気力だけがあれば大会出場も可能となるんだが…。



石田先生の話

賀田マネの話ではさしあたっての強敵は流川ぐらいのもので、あとはまあまあだとのこと。是非とも夏には出てもらいたいものだ。

野球部ができると同時に甲子園に出て以来、過去春・夏各六回出場の輝やかしい伝統をもちながら（もう一度出場すると県下最多記録）最近の低調はどうしたことであろう。それにはいろいろな問題点があるが、公立では学制がなり、私立にはないというとも大きな問題点の一つであると顧問は言っておられる。事実、この春の大会を見ても私立が大部分で、公立は数えるほどしかない。これらが、▲勉学との両立は若しいことであるが、時間の使用に左右される。私としては練習時間を節約して、なるべく両立させてやりたい。▲個人負担はなるべくさせたくない。個人で使用するもの、たとえばグローブやバットなどは個人で買わないとやっていけない。今でも先輩から古ボールをもらってやっている。▲その他最後に選ばれたいことは、現在のチーム力は大会に出ていたときの力と同じだから、選手の気力だけがあれば大会出場も可能となるんだが…。